

2022年度

N0.5 (通算 NO27)

2022・4・19

事務局だより

一般社団法人 示現会

事務所 ☎ 03-3824-9128

○ 75周年記念示現会展 終了

○ 会場掲示 展覧会案内

裏面 ○＜特集＞ 審査員と受賞作家の言葉

4月6日より18日まで開催された示現会展は1万人を超える大勢の鑑賞者にぎわいました。といっても例年は2万人を超える入場者がありますので、まだまだコロナの影響は大きいです。開催期間中は天候にも恵まれ会場となりました国立新美術館は桜がまだ残っており、桜をバックに写真を撮る方が大勢いました。

75周年示現会展 報告1

示現会展終了！

会場入り口に掲載した「展覧会案内」です

七十五周年記念展開催に際して
本日は、このコロナ禍のなか、都心の美術館まで足を運んでいただきありがとうございました。

展覧会を開催するにあたって、五カ月程前から準備に入ります。昨年十一月頃展覧会委員会を立ち上げ、各係が自分の持ち場の業務をそれぞれ担当し、三月に一堂に会し一挙に搬入、審査、部屋割り、陳列へと突き進むのです。しかし今この工程は業務の進捗だけでは進めません。たえず、周辺のコロナの動向を横目で見つつ、果たして展覧会の中止はないのか？会場の安全確保は？等々のクエスチョンを抱えつつ、行きつ戻りつしての業務でした。この「ご挨拶」をしたためているのも、年の初めです。昨年暮れ東京の新規感染者が最低ラインまで減少しての安堵感の中、それがまた、年明けとともに爆発的に増加しピークに達した時点でこの挨拶文を書いています。これが、展覧会場入り口に掲示されることを願いつつの挨拶です。

人類は過去にその英知でペスト、天然痘、コレラ等を克服してきました。コロナもそれらに匹敵する全人類の災禍です。しかし人類は必ずやこの災難に負けず、人としてのすべての営みを回復し、社会生活を復活させていくでしょう。もちろんその人としての生活は、芸術の灯を消すことなく営まれるでしょう。この私たちのささやかな展覧会も、人類が人類であることの証としての芸術活動の片隅で、お客様に観ていただければ幸いです。

令和四年四月 (展覧会・事務責任者 井上 武)

コロナ感染がいまだ猛威を振るう中での開催となりました「75周年記念示現会展」は皆様のご協力とご支援で無事終了することが出来ました。残念なことにいろいろと制約があり、満足のいく内容とはなりませんでしたが、記念展にふさわしい、作品が展示され、来館いただいた方々から称賛の言葉をたくさんいただきました。表彰式、懇親会、画集発行、75周年の記録表示など記念の行事を催行できましたことを報告いたします。

数字で見る示現会展

総展示数	751点
一般入選者	145名
初出品者	51名
総入場者数	12562人 (74回展 8767人)
1日平均入場者数	約1050人
一日の最多入場者	1569人 (4月16日(土))
絵葉書売り上げ枚数	2590枚 (74回展 2414枚)

訂正ください

今回の示現会展では、画集、目録、早見表にいくつか間違いがありました。

画集では、73ページ 小泉幸雄さんの作品の題名が「新雪の里」とありましたが、「深雪の里」が正しい題名です訂正ください。目録につきましてもいくつか部屋番号が違っておりまして。お詫びいたします。

一般入選者に17歳、23歳が登場、栃木、台湾から多数の応募者がありました。また、今回の来館者では、20歳代前後の方が多くみられました。学生証で入館した方は498人、また美術館で開催された企画展のチケットで入場された方は1902名という予定以上の人数になりました。示現会の作品に初めて目にする方々が2500名以上に上りました。

ホームページを見てきた方には入場無料にいたしました。149名が来館いたしました。ホームページの大切さも改めて確認しました。

特集1

審査鑑別について

3月29日から31日までの3日間にわたり、作品の審査鑑別を行い入選作品、受賞作品が決まりました。

今回の審査鑑別は美術館の使用規定により人数が限られ、16名の本部役員が担当しました。大臣賞選考委員会には外部審査員として佐藤哲先生、小川尊一先生に参加いただきました。

受賞者一覧

75周年記念展審査員



文部科学大臣賞の選考は外部審査員の2名の先生と本会の常務理事が担当して行いました。75周年記念展の大臣賞は山形支部支部長原田一裕さんに決まりました。



創元会理事長
小川尊一先生

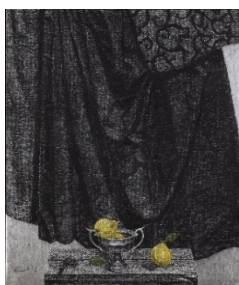
芸術院会員 東光会理事長・
佐藤哲先生



文部科学大臣賞	原田 一裕
示現会賞	霜田 精奏
75周年記念賞	石橋 俊博
75周年記念賞	湯浅 迪哉
会員賞	石田 幸嗣
会員賞	我妻 宏也
準会員賞	成清 ゼンボー
準会員賞	松本 光一
会友賞	稲富 康男
会友賞	須山 昇司
新人奨励賞	王 慶祥
新人奨励賞	別所 杏音
佳作賞	
甲斐 敬彦	加藤 誠治
福田 忠雄	田原 富作
蔡 高明	森田 勝郎
中原 和夫	福田 郁
畑中 智恵子	江本 洋
前村 有子	安田 克己
伊藤 洋一	大木 研一
高久 省三	豊田 有子
川口 茂	長谷川 欣吾
岡田 智代	しんどう れいこ
木原 一郎	
大内田賞	星子 喜代美
樽原賞	岡崎 正枝
樋口賞	川崎 猛
SOMPO	西野 博樹
美術館賞	加藤 勝彦
現寿賞	碩 信治
	土屋 功
	長谷部 和子
	福岡 久藏

文部科学大臣賞

「吊るした布と花梨」
原田 一裕



この度は栄えある文部科学大臣賞をいただき誠にありがとうございました。これも理事長はじめ諸先生方の格別のご配慮のおかげと深くお礼申し上げます。表彰式の後、なぜか山形新聞東京支社の取材を受け、翌日、出品者入選者名簿とともに6段抜きの記事で報じられ、その反響は大きく、新聞の力に改めて驚かされました。嬉しいやら、恥ずかしいやら。

SOMPO 美術館賞

「雪の公会堂」
西野 博樹

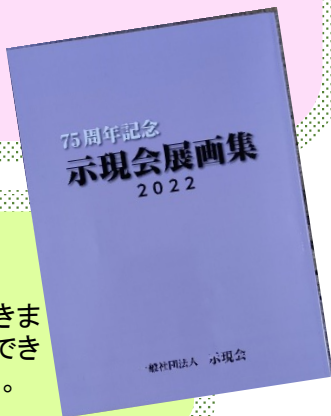


ここ数年、世界の混乱のまま、私自身も半分時間が止まったかのような日々でした。そんな閉塞感の中、数年前に雪の中で描いた8号キャンバスが、沈んだ気持ちに感動を呼び起こしてくれ、出品作になりました。この度の受賞には正直戸惑っており、それは背中を押すどころか、思いつき引っぱらいたいただいた気分です。精進いたします。ありがとうございました。

リーフレットの発行



A44ページのカラーで印刷されたリーフレットは役員の作品及び、受賞者の作品が紹介されています。巡回展でも配布されます。ぜひご覧ください



画集について

全作品カラーで紹介する、75周年記念画集は2000円で販売いたします。事務所の方に連絡いただければ、送料無料です。送ります。(03-3824-9128) なお、会友以上の方には2冊ずつお送りしています

画集の購入は各支部でも購入できます。巡回展会場で販売を予定しています。又各支部の画集を担当する方に連絡して購入もできます。購入代金は支部の運営費などに充てることができますので、出来るだけ支部での購入をお願いします。